

■事業所・サービス紹介

友朋会では、理念「健やかでその人らしい生活の創造」のもと、利用者の皆様、ご家族、地域へ障がい福祉サービスを通じて寄り添い、貢献していきたいと考えています。この理念を達成する為、当法人では「コンプライアンス（法律順守）の徹底」、「人権の尊重」、「家族・社会との連携」、「地域移行の推進」の4つの運営方針を定め、日々の支援に取り組んでいます。



障がい者支援施設サニーサイド

- 【提供サービス】
- ・施設入所
 - ・生活介護
 - ・短期入所
 - ・日中一時支援



サニーサイドワークセンター

- 【提供サービス】
- ・就労継続支援B型
 - ・計画相談支援
 - ・障害児相談支援



アトリエSUN

- 【提供サービス】
- ・生活介護
- 障がい者支援施設サニーサイドの別館となります。アール・ブリュット活動や生活のプログラム等、新たな活動の場となっています。



共同生活援助事業所 サニーサイド

- 【提供サービス】
- ・共同生活援助
- 男性棟1棟、女性棟2棟



■地域公益事業・・・友朋会では、以下の地域における公益的な取り組みを展開しています。

- ・生計困難者レスキュー事業
- ・サニーサイド地域福祉相談室
- ・一人住まいの高齢者訪問事業

社会福祉法人友朋会
障がい者支援施設サニーサイド

〒861-1213
熊本県菊池市泗水町南田島1791-1
TEL 0968-38-4448
FAX 0968-38-2850
MAIL info@sunny-side.or.jp
URL https://sunny-side.or.jp



ホームページ

haleta -ハレタ-

2023年 初夏号
社会福祉法人 友朋会
障がい者支援施設
サニーサイド

Vol.12

エドワード M. ゴメズ賞

《ピンと缶》

古川 好夫



特報

日本財団DIVERSITY IN THE ARTS公募展
審査員賞 受賞

〈ご挨拶〉
2023年度を迎えて

〈各サービスの目標紹介！〉
2023年度事業計画について

〈支援の実践報告〉
サニーサイドベストサポート賞の支援事例

〈その他〉
2022年度イベント振り返り



2023年度を迎えて

年度始めのご挨拶

猛威をふるった新型コロナも次第に落ち着きつつあり、5月には第5類に変更されました。サニーサイドではこれまでコロナ対策予防のため帰省や面会などをお断りしてきましたが、やっと解禁することになりました。各種行事や利用者の外出などの支援メニューも用心しながらではありますが以前と同様に実施しています。利用者の皆さんをはじめ職員も少し明るくなったような気がします。

この3年間の制限された生活を振り返れば、人は互いにコミュニケーションをとりながら生きていく存在だとつくづく思います。何が起こるか分からない不確実な世の中だからこそ改めて1日1日を大切に過ごしていきたいと思っています。

さて、法人では令和4年度の決算と事業報告がまとまったところです。公認会計士を交えての決算は順調に運営できています。しかしながらこのところの物価高や人材不足はサニーサイドの運営にも影響が出始めています。この状態は今後も続くものと思われ早急な手当が必要ですが、来年度は国が定める報酬改定の年にあたるので、これに併せて対応することとしています。

サニーサイドでは運営方針の一つとして支援の質の向上に取り組んでいますが、昨年度の事業報告でもいくつかの成果が報告されています。こういった毎年の成果を積み重ね、さらに利用者が安心して暮らせる施設作りに邁進していきたいと考えています。

また今年には人事異動を実施しました。事業間の人事交流や支援業務の活性化を目的に実施しましたが、窓口の担当者が交代することもありますのでよろしくお願いいたします。

最後になりましたが昨年開催されたアート作品の公募展で、利用者の古川好夫さんの作品が審査員賞を受賞しました。今年はギャラリーの披露も兼ねアールブリュット作品展を開催する予定です。ぜひサニーサイドまで足をお運びください。

(理事長 衛藤 博)

年度始め式

4月の仕事始めの日は365日の中の1日に過ぎないのに、毎年ワクワクとドキドキの入り混じる不思議な日のように感じます。そのような日に当施設でも辞令交付や職員表彰を行う年度始め式を開催しました。まず、今年度はキャリア採用、新卒採用の計2名を迎え、辞令交付を行いました。二人のこれからの仕事の意気込みを聞いて、緊張感の中にも仕事に対する熱い想いを感じたところです。是非、これから利用者の方の生活の支えとなってほしいと思います。

今回の年度始め式では“SUNNYSIDE GOOD JOB AWARD”という新しい表彰制度を導入しました。これは日頃の支援の成果や職員の成長を目に見える形で評価しようというものです。1つ目の賞は、利用者の方への支援向上に努めた職員へ贈るベストサポート賞、2つ目の賞は成長著しい職員へ贈るベストインブループメント賞になります。表彰式では記念の品を受取り、笑顔で支援に対する想いや今後の成長について語っている姿が印象的でした。また、当日に参加できなかった職員に後日、記念の品を渡した際に「また、がんばります。ありがとうございます。」ととても嬉しそうな姿を見て、私自身も何か頑張りたいなと思わせてくれました。

今後、この表彰制度が職員や利用者の皆さんに良い効果をもたらしてくれると願っております。

(係長 河野 敬造)



▲理事長より法人の経営状況や今後の事業方針に関するお話がありました



▲緊張した面持ちで挨拶をする新任職員の二人



▲“SUNNYSIDE GOOD JOB AWARD”の表彰

第5回 日本財団 DIVERSITY IN THE ARTS 公募展 審査員賞受賞！！

第5回 日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 公募展で利用者の古川好夫さんの絵画作品「ピンと缶」が6名の審査員が1点ずつ選ぶ審査員賞を受賞しました。また、牧野慎也さんの絵画作品「傘」が佳作に入賞されています。

この「日本財団DIVERSITY IN THE ARTS 公募展」は国内外の障害のある方が制作したアート作品を対象とした、素材やテーマがフリーの公募展です。今年は世界12か国からなんと2,246点もの作品の応募がありました。今回は古川さんの作品が東京、横浜、大阪で展示され、5/15(土)に大阪・梅田で行われた授賞式にも、古川さんと職員3名で行くことができましたので、当日の様子をご紹介します。

コロナ禍が始まってからのおよそ3年間、職員含め利用者の方も外出制限を行ってきましたが、栄えある授賞式に参加できるタイミングはそう多くないと思い、感染対策に万全を期して新幹線で大阪へと向かいました。会場の「阪急うめだホール」では作品展示も同時に行われており、会場に着くと多くの来場者が各国から集まった作品を色々な表情で鑑賞していました。式の前にまず控室に案内され、他の受賞者の方たちと挨拶を交わした後、授賞式のリハーサルに臨みました。職員はもちろん、古川さん自身初めてのことはばかりで緊張している様子もありましたが、カナダからはるばる来日された受賞者一家や、他の県からきた受賞者の方々が気兼ねなくコミュニケーションをとって下さったおかげで、楽しい雰囲気でも参加することができました。授賞式本番、壇上では作品を選んでくださったエドワード・M・ゴメズ氏から古川さんの絵が独学にも関わらず現代アートの一流の作品に似ていると直接選評をいただきました。

私が会場に行って感じたことで印象に残っていることは、古川さんの作品が他のどの作品にも引けをとらないインパクトを放っていたこと、それから、海外の方が翻訳機を使ってまで作品を「壮大で深い」と伝えに来て下さったことです。絵に対して抱く思いや感情は人それぞれだと思いますが、海を越えた先で暮らす多様な価値観をもった人たちの心にも作品を通して影響を与えていることに本当に感動しました。私たちは今後、自信を持って利用者の作品を世に送り出したいと思えましたし、作品の魅力を少しでも多くのひとに届けられるよう努めていきたいと思いました。

(主任 大森 天登武)



会場の「阪急うめだホール」のロビー



自分の作品の前でパシャリ



世界中の作家による素晴らしい作品群



審査員や他の受賞者と集合写真



短い時間でしたが観光も◎

暮らしを感じていただけるように春の会では、利用者の方が染めたコーヒーフィルターを使って蝶々の飾りを作成したり、菜の花をイメージしたフォトスポットを作ったりと、ホールを飾りつけました。「新しい担当職員は誰かな?」「どんな人が新人さんで入ってくるのかな?」と利用者の皆さん、楽しみにした様子で春の会を迎えられていました。事業計画や個別支援計画について説明を受け、「ウォーキング頑張る!」など新年度に向けて意気込んでいらっしゃいました。



蝶々やお花の飾りが華やかですね(*^-^*)



事業計画について説明を聞いている様子



個別支援計画について担当職員から説明を受けます



フォトスポット★

◇障がい者支援施設サニーサイド

サニーサイドの目標はサービスの質の向上、暮らしの質の向上です。サービスの質の向上では、利用者の方がより楽しく、より健康で生活が送れるよう、活動メニューの見直しを行い、運動する時間を増やすことで身体機能の維持・向上に繋がる支援を提供していきます。また、創作活動では、絵画活動や創作作品の制作を重点的に取り組み、「くまもと県障がい者芸術展」等への出展にも力を入れて取り組んでいきます。

次に、暮らしの質の向上では、利用者の方が暮らしやすく、衛生的で、温かみのある暮らしの提供を行っていきます。重度・高齢の方でも安全に過ごせるよう家具等の配置の見直しを行い、効率的な清掃、共有スペースには季節に応じた観葉植物や絵画等を設置することで、安全で快適に暮らせる施設づくりを目指していきます。また、感染症に関しても予断を許さない状況ではありますが、利用者の方の意見が反映できるよう外出や余暇活動、社会参加の機会も増やしていきたいと思えます。

(課長 村上 美保)



◇サニーサイド ワークセンター

昨年は全国旅行支援が始まるなど、社会が動き始めたことにより、委託作業の受注が増えはじめ、コロナ禍に比べ1.5倍の注文をいただきました。また、第一生命保険株式会社様より、SDGsの取り組みとしてマルシェへの出店や企業様へのプレゼントとして当事業所の商品を取り扱っていただく等、多くの方に活動を知っていただく機会が増えてきました。

今年度も売り上げの向上、工賃向上に向けて委託作業に加え、より目で楽しんで頂けるようにハーブティ等の改良、人気のある手描きパッチの制作を行って参ります。

また、絵画活動についても、昨年度は4名の方がアールブリュット展覧会に多くの作品を展示されています。レンタルアートについても多くの企業様や個人様に契約をいただいております。更に創作活動を充実し、環境設定や活動時間を増加していくことで、新たなアールブリュット作家の発掘に繋げていきます。

(係長 永田 精一郎)



2022年度イベント振り返り



◇法人・運営

法人本部の事業計画のポイントは“人材マネジメント”です。令和4年版厚生労働省白書において、令和22(2040)年には1070万人の医療・福祉分野の就業者が必要と見込まれているのに対し、確保が見込まれるのは974万人にとどまり、96万人程度の人材不足が生じるとされています。

当法人でも、事業所の拡大や手厚いサービスの提供のために約10年前と比較して人員は約1.5倍に増員していますが、様々な勤務形態、多様な障がい特性に対応するには、今後も人員の確保は重要なものになっています。すでに新卒採用については就職情報サイトマイナビにて募集をかけて、学生の皆さんとの接点作りをスタートしています。さらに今年度は新たに情報発信としてSNSを活用し、身近に福祉の現場を感じて頂けるように整備していく予定です。また、支援現場の人材育成においては、人員を増やすだけでなく業務の兼業、専業の体制構築を継続し、職員の成長とともに業務の効率化も図ります。

働きやすい職場環境が利用者の方の支援の向上に繋がれることを意識して“人材マネジメント”に取り組んでまいります。

(係長 河野 敏道)

◇共同生活援助事業所サニーサイド

グループホームの目標は「自立した暮らしのサポート体制の充実」です。昨年、12月にグループホームがえでの運営を開始しました。最初は戸惑いも見られましたが、バリアフリーで広々とした室内に入居の方も大変喜ばれ、充実した生活を送られています。

新たなグループホームの開設に伴い、支援体制を見直し「居室環境の整備」、「利用者の方の生活スタイルの変更」、「余暇活動支援体制の見直し」の3点に焦点をあて、利用者の方が自分の力で生活をしていくことが実感でき、安心して清潔な環境で暮らすことができるよう取り組んでいきます。

(係長 永田 精一郎)

◇相談援助事業所

相談支援の事業目標は、地域ニーズの調査・分析の実施、事業所情報の収集、事業所一覧表の作成です。本人、家族が生活するにあたって、どんなサービスを必要としているのかまた、地域の中で必要とされるサービス等が十分にあるのかを把握して行きます。事業所情報については、サービス提供事業所が多くある中で、本人、家族のニーズに応じた支援を行っている事業所を適切に選択して頂くために情報を集約して行きます。コロナ禍で新規利用者の対応、事業所への訪問、見学等を控えることも多かったですが、今年度からは見学等の機会も多く持ち、利用者の方が適切なサービス、安心できる生活のためのサポートを行っていきます。

(係長 前田 奈緒美)



サニーサイドベストサポート賞

昨年度、サニーサイドベストサポート賞に選ばれた、Cさんの支援について報告させていただきます。

以前のCさんは本人のこだわりで枕カバーやマットレスカバーなどすべての寝具のカバーを外して就寝されていました。それが原因の一つなのか、肌がかぶれてしまうことがあり、なんとかできないかと考えました。清潔な就寝環境を整えるためにCさんがホール活動に参加されている日中に支援員で寝具を交換し、枕カバーや敷布団カバーのチャックの部分縫って、洗濯の日まで継続して使用できるように支援をしました。最初の頃はカバーが外せない事が不思議そうな様子でしたが「お肌がかぶれないように、お布団のカバーはつけておきましょう」と繰り返し声掛けを行い、段々と納得された様子で顔が赤くなっていました。上記のCさんへの支援を繰り返して半年が経過した頃、皮膚がかぶれることは、ほとんど見られなくなりました。また、支援を続けることで、Cさんの中でも「寝具のカバーは外さない方が良い」という意識付けができたようで、チャックを縫い付けなくてもカバーを外されないようになりました。

また、Cさんは爪を切ることに苦手意識がありました。支援において他の利用者の方がマニキュアを塗っていることに興味を持たれていたため、「Cさんも爪切りをした後、マニキュアを塗ってみませんか」と声掛けすると、爪切りの支援を受け入れてくれました。爪切り後にマニキュア塗った手を何度も嬉しそうに眺めているのが印象的です。その後も支援員や他の利用者の方に爪を見せて「綺麗ですね」と声を掛けられるたびに嬉しそうにされていました。マニキュアを塗るようになってから、自ら爪切りをする意思表示をされるようになりました。「今日はどの色のマニキュアを塗りましょう

か」と声掛けすると笑顔でマニキュアを選ばれています。マニキュアを塗るようになってからCさんとのコミュニケーションの手段が増え、信頼関係がより築けたように感じました。

これからもCさんが健康に楽しく生活ができるように支援してまいります。

(支援員 清水 夏希)

サニーサイドベストサポート賞とは・・・

利用者の方の個性やストレンクス(強み)に着目し、支援の向上に努めた職員に贈られる賞。2022年度より、職員の支援成果を目に見える形で評価するために導入。



以前はチャックの部分をごんな感じで縫っていましたが、現在は縫わなくてもカバーを付けて就寝出来ています。



薄ピンクのマニキュアがCさんのお気に入りです。

新任職員紹介

①名前 ②採用 ③職種 ④趣味



①原 祐輔
②キャリア採用
③生活支援員
④楽器演奏、DIY



①坂本 二千佳
②新卒採用
(九州看護福祉大学)
③生活支援員
④映画鑑賞、読書



①金森 悦子
②キャリア採用
③看護師兼生活支援員
④手芸



①林 義朗
②キャリア採用
③生活支援員
④ギター演奏



資格取得者と永年勤続表彰

■資格取得者紹介

2022年度は6名の職員が資格試験に合格しました。利用者の方たちに専門性の高いより良い支援を提供できるよう、今後も頑張ります。

公認心理師	係長	村上 美保
公認心理師	係長	前田 奈緒美
社会福祉士	支援員	光神 美咲
介護福祉士	支援員	大友 悠平
介護福祉士	支援員	古庄 美幸
介護福祉士	支援員	内田 華奈



合格した6名。左から内田さん、古庄さん、大友さん、光神さん、村上さん、前田さん

■永年勤続表彰

主任 大森 天登武(勤続10年)



私の成長を見守ってくれる上司や切磋琢磨できる同僚、ご飯に気兼ねなく誘ってくれる後輩たちのおかげで楽しく働くことができています。これからも利用者さんの為に、私にできることを精一杯頑張りたいと思います。

サニーサイドへようこそ!

新たにサニーサイドを利用されます皆様をご紹介します。皆さん、これからよろしくお願い致します。



橋本 航貴(はしもと こうき)様
2023年4月より施設入所と生活介護をご利用されています



落合 皓樹(おちあい こうき)様
2023年4月より生活介護をご利用されています



異動のお知らせ

2023年4月より職員3人の異動がありましたので、お知らせ致します。

①サニーサイドワークセンター
施設長 宮崎 嗣大

②障がい者支援施設サニーサイド
課長(サービス管理責任者)
村上 美保

③サニーサイドワークセンター
共同生活援助事業所サニーサイド
係長(サービス管理責任者)
永田 精一郎



辞令交付にて代表で挨拶する村上課長

新型コロナウイルス5類移行後の対応について

5月8日より新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが2類感染症から5類感染症に移行されました。これにより、当施設でも新型コロナウイルスに関して以下のように対応致します。

1. 外泊・外出について
 - ①コロナ前のように通常通り、外泊・外出を再開いたしますが、身近な方や施設関係者でコロナ陽性が確認された場合はご遠慮頂くことがあります。
 - ※施設内での共同生活になりますので、マスク着用、手指消毒など基本的な感染対策をお願い致します。
2. 面会について
 - ①原則、玄関先の面会スペースで対応致します。
 - ※施設内での飲食はお控え頂くようご協力をお願い致します。
3. イベント等について
 - ①外部の方をお呼びするイベントについては現在、検討中です。
4. 施設内の感染予防について
 - ①職員のマスク着用、手指消毒、換気の徹底は引き続き実施しています。
 - ②施設内への入館は必要最低限とし、状況に応じて入館前に抗原検査等を実施します。
 - ③定期的な抗原検査及びワクチン接種を実施します。

スケジュール&編集後記

□年度内のイベント予定

- 6月 レクリエーション大会
- 7月 セタ会、土用の丑の日
- 8月 納涼祭
- 9月 敬老会、お月見会
- 10月 ベタンク大会



編集後記

新年度が始まって慌ただしく過ごしている間に1か月が過ぎ、驚きました。みなさん楽しんで読んでもらえるような広報誌を作成できるよう、広報委員会のメンバー一丸となってこれからも頑張ります。今年度もよろしくお願い致します。